

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名:座間谷戸山公園

事業計画書の内容								令和5年度の実施状況	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	R4	R5	R6	R7	R8		
1 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等									
	管理運営方針、考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・市民社会との様々なパートナーシップを推進し、地域や人々の心を豊かにするとともに、公園・みどりなど自然環境、伝統文化等をしっかり次世代に引継ぐ ・安全、快適な利用空間の提供 ・より高い公益性の発揮 ・効率的・効果的かつ持続可能な管理運営 	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	1、2
	明るく・安全・快適な里山環境の実現、里山体験の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な視点に立った里山林管理 ・危険木の早期発見と継続的な危険木処理 ・自然観察会など里山を楽しむ様々な体験プログラム ・ボランティアと連携した里山林保全活動 	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	3
	生物多様性を持続させる細やかな管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアごとの生き物と共生する植物管理 ・ボランティアと連携・協働した動植物の調査・保全等 ・生物多様性を低下させる外来生物の戦略的防除 ・園内で収穫したもち米・野菜を「地域の子ども食堂」に提供 ・園内の植物や動物をわかりやすく解説 ・SDGs実践普及の場として「やとやま学校」の開設 	実施	「野鳥の原っぱ」斜面下に新たに創出したビオトープ池の適切な管理を実施し、生き物の生息環境を拡げる。	同左	同左	同左	・「里山保全隊」に参加した市民ボランティアと協働で、外来植物(ヒメリュウキンカ、ナガミヒナゲシ、セイタカアワダチソウ等)の除草を行い里山環境の保全を行った (補足説明資料①)	3
	みんなでつくる、より良い公園づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・谷戸山公園運営会議など市民参加型公園管理運営 ・地域や関係団体と連携したイベント等 ・新たなボランティアの育成 ・公園で活動する多様な団体等の発掘 ・収穫した農作物を地域の「子ども食堂」に提供 	実施	同左	同左	同左	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・谷戸山運営会議の実施 (補足説明資料①) ・地域の市民団体と連携し、ノルディックウォーキング講習会を開催した (補足説明資料①) ・「農業体験」で豊作だったサツマイモを「フードバンク」に提供し「子ども食堂」等へ配布してもらった (補足説明資料①) 	3
	イキイキと暮らせる多様な公園利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりなど、多様な公園利用のためのレクリエーションプログラム ・森林セラピーロード認定等の取組 ・地域や関係団体等と連携した広域利用 ・外国人利用者、障がい者、子育て世代など多様な利用者ニーズへの対応 ・小田急電鉄などと連携した情報発信、広報による公園利用 	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	昨年度同様に、「森林セラピーロード」認定に向けて、座間市商工会や、座間市観光協会へのヒアリングを行い連携の強化を図った	3
	平等な利用の確保	利用ルールの徹底、ユニバーサル対応、積極的な情報発信	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	4
	利用者や地域住民等の声を反映した公園づくりの推進	公園モニターや利用者アンケート等の実施、利用者や地域と連携した維持管理、地域の声を反映した公園づくり等	実施	同左	同左	同左	同左	水飲み場6箇所にて犬用のウォーターボールを設置 (補足説明資料①)	4
	環境に配慮した管理運営	「環境マネジメントシステム」の運用、SDGsへの主体的な取組、生物多様性の保全等	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	4、5
2 業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等									
	<委託予定業務一覧表(様式第3号)にて確認>								6、7

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名:座間谷戸山公園

事業計画書の内容								令和5年度の実施状況	事業計画書 該当ページ	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	R4	R5	R6	R7	R8			
3 施設の維持管理										
	施設の保守点検業務、小破修繕業務等	県作成の公園長寿命化計画を基本に、高度な保守点検と修繕を実施。各施設の修繕等においては樹林地等の発生材を有効活用	実施	同左	同左	同左	同左	同左	・倒木で破損した手摺りを、デッキ園路更新時に発生し保管した部材で修繕した ・伐採木を有効活用したベンチやスツールを製作し園路に設置した (補足説明資料②)	8
	清掃業務	利用者が安全・快適に公園を利用し満足してもらえるよう臨機応変な清掃管理	実施	同左	同左	同左	同左	同左	・他公園から高圧洗浄機を借用し、園路、ベンチ等の洗浄を実施した (補足説明資料②) ・多目的トイレの外壁を直営で補修塗装を実施した (補足説明資料②)	8
	受付業務	おもてなしの心をもったお迎え、すべての人に楽しんでもらえる受付・案内	実施	同左	同左	同左	同左	同左	接遇研修に公園スタッフが2名受講	8
	警備業務	不定期に夜間の巡視警備を行い犯罪の起こりにくい環境を維持	実施	同左	同左	同左	同左	同左	・「公園まつり」等の大規模イベント開催時に東口駐車場に警備員を3名配置し、事故防止と円滑な公園利用に努めた	9
	樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等	・樹林地管理5年計画及びエリア別植物管理計画図に基づいた計画的な植物管理 ・危険木の早期発見と継続的な危険木処理 ・ボランティアと連携・協働した動植物の調査・保全 ・生物多様性を低下させる外来生物の戦略的な防除	実施	同左	同左	同左	同左	同左	・市民団体が製作したカシナガトラップを34個寄付して貰い園内に設置した (補足説明資料②) ・モミジの苗木を育成し、20本以上を植栽した(補足説明資料②) ・ボランティアと連携・協働した外来植物(セイタカアワダチソウ)の除草を実施 ・市民団体と連携しホテルの生息環境の保全に努めた (補足説明資料③)	9、10、11、12
	管理基準以上の提案	高木管理(軽剪定)	実施	同左	同左	同左	同左	同左	利用者の安全確保のため、高木軽剪定300本以上を実施	13
		高木剪定(枯損木処理)	実施(県執行含む)	同左	同左	同左	同左	同左	利用者の安全確保のため、枯損木30本以上の処理を実施	13
		里山管理(下草刈)	実施	同左	同左	同左	同左	同左	生物多様性などのため12,000㎡以上を実施	13
		アライグマ等の駆除(処分)	実施	同左	同左	同左	同左	同左	スズメバチ捕獲用のトラップを園内20箇所に設置	13
	維持管理の水準を担保するための取り組み	・有資格者による業務の推進 ・業務効率化の取組 ・コスト縮減の工夫 ・防災機能の強化 ・スタッフのスキルアップ	実施	同左	同左	同左	同左	同左	・公園管理運営士を1名を追加配置 ・中古の芝刈り機を購入し管理作業で使用して、設備投資の縮減を図った	13

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名:座間谷戸山公園

事業計画書の内容								令和5年度の実施状況	事業計画書 該当ページ		
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	R4	R5	R6	R7	R8				
4 利用促進のための取組											
公園の特例や利用状況(繁忙期・閑散期等)、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等(有料施設は除く)		「畑での農体験プログラム」の創出	実施	新たに大豆「津久井在来」を栽培	同左	同左	同左	同左	新たに枝豆作りを追加 (補足説明資料④)	14	
		資源循環型管理に関連したプログラムの充実 ・雑木林の落ち葉かき&焼き芋作り ・発生材を活用したシイタケのほだ木作り	実施	同左	同左	同左	同左	同左	・落ち葉かき&焼き芋作り開催 (補足説明資料④) ・シイタケのほだ木作りを実施 (補足説明資料④)	15	
		SDGs実践普及の場としての「やとやま学校」の開設	実施	プログラム運営に向けた準備	募集、運営開始	同左	同左	同左	「昆虫ウォッチング」等体験プログラムを実施	16	
		県の3033運動と連動したセルフ運動プログラム	実施	運営開始	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	17	
		森林セラピーロード認定等の取組	調整中	座間市と連携したトライアルイベントを実施	森林セラピーの試行	同左	同左	同左	・公園協会設立50周年記念イベントとして「森林浴体験会&講演会」を開催 (補足説明資料④)	17	
		遊び体験等に関するプログラム ・ツリークライミングやハンモック、スラックライン体験プログラム ・プレイパーク ・オリエンテーリング	プログラム実施団体を模索中だが時間を要すると思われる。	準備・試行	開催予定	定期開催	同左	同左	ツリークライミング、オリエンテーリングの各団体と調整を図り来年度開催予定	18	
		その他のレクリエーションプログラム等 ・「改訂版 歴史散策マップ」の作成・配布 ・「旅たび相模 周遊モデルコース」との連携	調整中	一部実施	改訂版作成、配布	同左	同左	同左	・散策マップ改訂版作成の資料収集、準備 ・「旅たび相模 周遊モデルコース」との連携を行った	18	
		新しい生活様式に対応した利用促進 ・360度カメラを用いた疑似体験動画の配信 ・QRコードを活用した案内システムの導入	調整中	実施	同左	同左	同左	同左	・疑似体験システム導入 ・一部案内システム導入	19、21	
	有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容		自販機の増設	実施	実施	同左	同左	同左	同左	パークセンター入口に2台新設の実施	20
	多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等		小田急電鉄との「公園の魅力向上と公園を活用したまちづくりに関する連携協定」を締結	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	継続して実施
		様々な媒体や地域のネットワークを活用した情報発信 ・公園公式ホームページの充実	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	新たにYouTubeを導入し、ブログ、Twitter、等の情報発信の拡充を実施	21
		様々なツールを使った効果的な情報発信 ・QRコードを活用した解説板 ・外国人利用者のための翻訳機の設置	未実施	一部実施	同左	同左	同左	同左	同左	・QRコードを活用した解説板の一部実施 ・翻訳機の導入(パークセンター)	21
		各種機能を備えた自動販売機の導入	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	22
		パークセンターや里山体験館、ログハウスの有効活用と情報発信	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	展示やボランティア活動の紹介スペースとしての利用や活動の場を推進	22
広報・PR活動		イベント等でのPR	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	22
		WEBを有効に活用した情報発信	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	22
5 自主事業の内容等											
公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等		ポストカード、ストラップ等の販売	パークセンターでも販売開始	同左	鍋敷きを新たに販売開始予定	同左	同左	同左	同左	継続実施	23
		公園協会オリジナルカレンダーの販売	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	継続実施	23
		里山体験館やパークセンターでの福祉団体のクッキー等の販売	公園まつりで実施	イベント開催時での販売	充実継続	同左	同左	同左	同左	イベント開催時に、障がい者就労施設が出店	23
利用料金		自動販売機	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	23
公園協会独自試算(SDGs積み立て資産)を活用した取組		・点字パンフレットの作成、サイン(簡易掲示)用のピクトグラム作成 ・防災用食料及び衛星電話等、防災備蓄品の購入	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・点字パンフレットのデータ作成 ・災害対応アンブルボードの導入 ・備蓄用オムツの導入	28、48

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名:座間谷戸山公園

事業計画書の内容								令和5年度の実施状況	事業計画書 該当ページ	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	R4	R5	R6	R7	R8			
6 利用料金の設定・減免の考え方										
	該当せず									
7 利用者対応・サービス向上の取組										
	公園モニターの公募	一般公募したモニターにより園内状況をチェックし、公園管理にフィードバック	実施	同左	同左	同左	同左	同左	本部主導で実施し、当公園は今年度対象外	27
	接客や利用者との対話、公園利用 ルールの利用者への助言、指導等の 考え方	・利用案内の手引き(仮称)の作成 ・おもてなしバッグの携帯	調整中	準備中	運用	同左	同左	同左	導入に向けた準備作業	25
		・窓口、電話、メール対応 ・情報共有による利用者サービスの向上 ・ユニバーサルサービスの提供	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	接遇研修2名受講
		利用ルールの策定と周知等	実施	同左	同左	同左	同左	同左	継続実施	26
	サービス向上のために行う利用者 ニーズ・苦情の把握及びその内容の事 業等への反映の仕組み等	苦情・要望データベースの構築	実施	同左	同左	同左	同左	同左	事例蓄積による活用と情報の共有化による利用者満足度向上と新規利用者の獲得	27
	外国人、障がい者、高齢者等誰もが円 滑に施設利用するための、コミュニ ケーションにおける工夫及び必要に応 じた支援の方針	外国人への対応	実施	モニター制度の運用	同左	同左	同左	同左	・HPを4カ国語に対応 ・自動翻訳機の導入 ・外国人モニター導入に向けた準備 ・ピクトグラムの活用	27、28
		障がい者への対応	実施	同左	点字パンフ、看板の 導入	同左	同左	同左	・点字の案内看板、パンフレットの自主財 源での導入準備 ・コミュニケーションボード導入 ・筆談器導入 ・障害者理解促進研修に2名参加	28
		高齢者への対応	調整中	同左	導入	同左	同左	同左	西口トイレ入ロスロープに、転倒防止用滑 り止めシートを敷設 (補足説明資料⑤)	29
		子育て世代への対応	実施	同左	導入活用	同左	同左	同左	熱中症対策として、ミストシャワーの設置 や、クーリングシェルターの提供を行った (補足説明資料⑤)	29
	神奈川県手話言語条例への対応	職員研修として手話講習会を開催	調整中	調整中	同左	同左	同左	同左	本部で開催予定であったが延期となった	29
8 日常の事故防止、緊急時の対応										
	指定管理業務を行う際の公園の特性 を踏まえた事故防止等の取組内容	リスクマネジメントによるリスク抽出、分析・対策立案、実 行、再評価による事故の未然防止	実施	同左	同左	同左	同左	同左	日々の巡視によるリスク情報の共有化と早 期対応	30
		事故不祥事防止会議の実施	実施	同左	同左	同左	同左	同左	協会本部での園館場長会議で実施	31
		所内会議・毎朝の作業前ミーティング等の実施	実施	同左	同左	同左	同左	同左	業務会議実施、作業前ミーティング毎朝実 施	31
		全園一斉施設点検パトロールの実施	実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	31
		地域と連携した防犯、子ども110番の家への登録	実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	33
		消防計画に基づく消防訓練と、山林火災防止のマナー啓 発	実施	同左	同左	同左	同左	同左	消防署指導の下消防訓練の実施	33
		公園管理安全マニュアル等の整備	調整中	作成作業	整備	同左	同左	同左	危機管理マニュアルの時点更新	34
	樹林地の過密化や巨木化等に起因す る災害を未然に防止する点検等の考 え方	日々の巡視や状況に応じた安全対策や、台風シーズン 前に集中的な点検を実施	実施	同左	同左	同左	同左	同左	4月に樹林地の枯れ枝、掛かり枝等の点検 を行い、緊急伐採工事を実施	34
	事故・不祥事等の緊急事態が発生した 場合や安全管理の妨げとなりうる事案 を認知した際の対応方針	「事故・不意商事に関する報告書」により適切に報告し、 「再発防止会議」を設置し、	実施	同左	同左	同左	同左	同左	令和5年度は、労災事故は無事故であった	35
		外国人、障がい者、高齢者への対応として、多言語表記 や「やさしい日本語」を活用	調整中	調整中	実施	同左	同左	同左	同左	掲示物やHP、パンフレット等の表記に順次 適用
		避難の補助として車椅子牽引補助装置を導入し、車椅子 の避難誘導を行う	実施	同左	同左	同左	同左	同左	継続実施	37

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名:座間谷戸山公園

事業計画書の内容								令和5年度の実施状況	事業計画書 該当ページ		
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	R4	R5	R6	R7	R8				
9 急病人及び新型コロナウイルス等への対応											
	急病人等が生じた場合の対応	上級救命講習の実施(主任以上3年に1回) 全職員へのAED取扱い訓練実施	実施	同左	同左	同左	同左	同左	該当職員の講習会受講と訓練の実施	38	
		幼児安全法支援員の資格取得	実施	同左	同左	同左	同左	同左	継続実施	38	
	新型コロナウイルス等の感染症に対する 対応方針	感染防止対策(消毒、検温、喚起等)の実施	実施	同左	同左	同左	同左	同左	県の感染防止対策の指示の下対応	39	
		職員、利用者の感染が判明した際の対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	まん延防止対策の適確な実施と関係機関 との連携	40	
10 災害への対応(事前、発生時)											
	異常気象(大雨、台風、熱中症アラート 等)への対応方針(事前、初動、発生 時、応急復旧等)	「県立都市公園等における災害(地震・風水害)対策活動 指針」に基づき対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	継続実施	42	
		台風の接近、大雨洪水に関する対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	継続実施	42	
		ゲリラ豪雨や雷等への対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	継続実施	43	
		熱中症警戒アラートへの対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	継続実施	43	
	公園の「震災時対応の考え方」に示す 初動体制等の対応	初動時～緊急時から復旧・復興時の対応	実施	同左	同左	同左	同左	同左	継続実施	44	
		IP無線機、衛星電話他を配備し多様な通信手段の確保	実施	同左	同左	同左	同左	同左	緊急参集訓練時に試験運用を行い通話の 確保を確認	46	
	大規模災害発生時の公園の特性、立 地状況等に応じた災害対応の考え方 (地域との連携、防災訓練、災害発生 時の協力等)	災害に備えた事前対策	実施	同左	同左	同左	同左	同左	災害情報の受発信、災害対策マップの活 用と更新、防災資機材の点検と更新	46	
		防災訓練と職員教育	実施	同左	同左	同左	同左	同左	シェイクアウトプラスワン、緊急参集訓練の 実施(年1回)	44、47	
		災害発生後のスムーズな業務継続	実施	同左	同左	同左	同左	同左	業務継続計画(BCP)に基づく迅速、適確 な業務復旧	49	
11 地域と連携した魅力ある施設づくり											
	多様な主体(地域人材、自治会、関係 機関)との連携、協力体制の構築等の 取組内容	市民参加型公園管理運営の一層の推進	実施	同左	同左	同左	同左	同左	「県立座間谷戸山公園運営会議」の継続 (補足説明資料①)	50	
		地域や関係団体と連携したイベント等の実施	実施		「共同イベントの手引 き」を策定し、 スムーズな準備によ るイベント開催を促進	同左	同左	同左	同左	「谷戸山公園まつり」、「共同イベント」の 充実継続 ・市民一斉美化デーへの参加 (補足説明資料⑥)	51
		地域の子ども食堂への貢献	実施	同左	同左	同左	同左	同左	同左	・公園で収穫された野菜を「フードバンク」 へ提供 (補足説明資料①) ・イベント時に「フードドライブ」を実施し、集 まった食材を「フードバンク」へ提供 (補足説明資料⑥)	51
	ボランティア団体等の育成・連携、協働 の取組内容	ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	実施	同左	同左	同左	同左	同左	「里山保全隊」の充実継続	51	
		「やとやまサポーター登録制度」の創出	調整中	同左	同左	実施に向けた検討	実施	同左	制度の枠組み作り	52	
		公園で活動する多様な団体等の発掘	調整中	同左	同左	実施に向けた検討	実施	同左	同左	・座間キャンプのボランティアと連携し新た な花壇を修景 (補足説明資料⑥) ・近隣中学校4校の職業体験の受入 (補足説明資料⑥)	52
	周辺施設(他の公園、施設等)との交 流・連携内容	他の公園、周辺施設等との交流・連携	一部実施	同左	同左	実施	同左	同左	「座間市福祉まつり」のサブ会場として東 口広場を提供(補足説明資料⑥)	53	
	地域企業への業務委託等による迅速 かつきめ細かいサービスの提供に向 けた取組内容	各種非営利団体(厚木市森林組合、市シルバー人材セン ター、NPO法人エバーグリーン21等)への業務委託	実施	同左	同左	同左	同左	同左	委託業務の充実継続	54	

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名:座間谷戸山公園

事業計画書の内容								令和5年度の実施状況	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	R4	R5	R6	R7	R8		
12 管理経費の節減等									
	収支計画	—	別紙参照	同左	同左	同左	同左	一部実施(収入合計/支出合計の比率は97%)パート1名の人件費を本部から公園に振り替えたため支出が増え、収支比率が3%のマイナスとなった。	付属書類
13 人的な能力、執行体制									
	指定期間を通じて効果的・効率的にして居管理業務を行うための人員配置等の状況	責任者・主要職員の適切な配置	実施	同左	同左	同左	同左	計画に示す経歴等での人員配置	55
		有資格者の適切な配置	実施	同左	同左	同左	同左	公園管理運営士を1名増員(総括管理主任が資格取得)	56
	業務の一部を委託する場合の管理・指導体制の状況	協会会計規定に基づく契約方法の決定・業者選定・履行確認	実施	同左	同左	同左	同左	高齢者就労団体や障がい者就労施設への委託も継続	58
	指定期間を通じて効果的・効率的にして居管理業務を行うための人員配置等の状況を通じて安定して指定管理業務を行うための日々のOJTや研修等の人材育成体制や職員採用の状況	研修の受講、資格取得の推進 民間との人材交流	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	58、59
公募による人材確保(正規職員) 地元人材の活用(非常勤、作業員等)		実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	59	
14 コンプライアンス、社会貢献									
	法規や労働関係法規の遵守	施設設備、労働関係、文書管理等の諸規程に基づく法令遵守の徹底	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	62
	4つの環境目標達成への取組	低炭素社会への貢献	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	63
		生物多様性保全	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	63
		循環型社会への貢献	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	63
		普及啓発の促進	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	63
	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムによる継続性の確保	システムの運用	同左	同左	同左	同左	システムの継続運用	63
	本公園での具体的な取組	環境負荷軽減	実施	同左	同左	同左	同左	・伐木材を丸太ベンチや木道の補修材等で活用(補足説明資料②)	64
		自然環境保全への配慮、環境教育	実施	同左	同左	同左	同左	座間市ゼロカーボン課主催のGISマップ作りイベントに協力	64
	障害者雇用の促進	障害者の直接雇用と障害者就労施設等への積極的な業務発注	実施	同左	同左	同左	同左	森林浴体験会の昼食である「セラピー弁当」を障がい者就労施設へ委託	64
	ともに生きる社会かながわ憲章の趣旨を踏まえ取組	職員研修、合理的配慮、イベントや利用者への普及啓発	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	65
	手話言語条例への対応	普及体制、職員への教育、利用環境の向上	調整中	調整中	実施	同左	同左	・職員への教育、研修の実施 ・コミュニケーションツールの設置等	65、66
	社会貢献活動等、CSR	事業運営を通じて地域社会への公園、環境への配慮を行い、地域の活性化、SCRの取り組みを進める	実施	同左	同左	同左	同左	地域支援センターの活動の受入	66
	SDGsへの取組	JV各社によるSDGs達成に向けた取組の実施、本公園での具体的な取組の実施	調整中	実施	同左	同左	同左	大型イベント開催時に「フードドライブ」を実施し、集まった食材を「フードバンク」へ提供(補足説明資料⑥)	66、67
15 事故・不祥事への対応、個人情報保護									
	個人情報保護のための方針・体制	諸規程整備による個人情報の適正な保護	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	68
	職員に対する教育・研修体制	各研修、会議の開催による個人情報保護の徹底	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	69
	個人情報の取扱い	厳格な取扱いの徹底 個人情報の漏えいが発生した場合の対応 電子データの取扱いに関するセキュリティ強化 ソーシャルメディア利用での対応 情報公開への対応	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	69、70

※本表と併せて、各項目の実施状況のわかる具体的な資料(説明資料・写真・作業一覧・新聞切抜きなど)を添付して提出して下さい。